

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	空堀川流域広域雨水整備事業					
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 6	-
【施策名】 防災・防犯体制の推進	総 合 計 画 書 (ページ)	93	

予算名	款	2	事業費	項	2	建設事業費	目	1	建設事業費	事業	19	負担金補助及び交付金
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	----	------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
	広域的な雨水整備 →	自治体数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 空堀川流域の広域的な雨水整備について、東大和市を含む3市及び東京都が取り組むべき内容を検討する →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） ①雨水整備として取り組む手法
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）
	① 空堀川流域広域雨水整備検討協議会における検討 ② 空堀川上流雨水幹線協議会における協議、検討 →	① 空堀川流域広域雨水整備検討協議会の開催 ② 空堀川流域広域雨水整備検討協議会幹事会の開催 ③ 空堀川上流雨水幹線協議会の開催 ④ 空堀川上流雨水幹線協議会幹事会の開催

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値		4	4	/	/
	成果指標	②の数値		4	1	/	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値		① 1 ② 3	① 1 ② 3 ③ 1 ④ 2	/	/	

3 経費	事業費（実績）		円	4,394,315	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	4,394,315	0	
		特定財源	円			
		（うち受益者負担）		円		
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.3	0.3	
		所要人数（再任用）	人			
職員人件費（再任用以外）		円	2,475,900	2,473,200		
職員人件費（再任用）		円				
事業費＋人件費		円	0	6,870,215	2,473,200	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	
	開始時期：平成29年度 目的：空堀川流域の広域的な雨水整備について、東大和市を含む3市及び東京都が取り組むべき内容を検討する。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	空堀川流域広域雨水整備検討協議会において、取り組む手法が流域下水道雨水幹線による整備に決定した。この事により、新たに空堀川上流雨水幹線協議会が発足した。	

仕 事 の 内 容	空堀川流域広域雨水整備事業			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	市議会へ空堀川上流域の広域的な雨水対策について、情報提供を行なった。		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	東大和市を含む3市及び東京都と意見を集約し整備手法を決定していく必要がある。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
空堀川流域広域雨水整備検討協議会において、取り組む手法が流域下水道雨水幹線による整備に決定した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
空堀川上流雨水幹線協議会において協議、検討を行なっていく。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	早期の浸水被害の解消のため、流域下水道雨水幹線の整備を中心とした雨水整備を進めて行く。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	公共下水道雨水整備のため、関係部署と調整・準備を行う。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費を増加させる。